

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あんずの郷作成日: 令和 5 年 3 月 30 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践	身体拘束委員会を3ヶ月毎に開催し、身体拘束の職員研修を年2回実施し、職員一人ひとりが、身体拘束や虐待防止の徹底に取り組んでいく。	職員研修の中で、職員は身体拘束が利用者に及ぼす弊害を理解し、具体時な禁止行為の事例を挙げて検証し、身体拘束をさせない介護サービスに取り組んでいく。	3ヶ月
2	3	事業所の力を活かした地域貢献	現在は、コロナ禍の為、地域との交流も難しい状況であるが、コロナ収束後には、事業所の持つスキルやノウハウを地域に還元し、認知症やグループホームの啓発活動を行っていく。	コロナ収束後には、運営推進会議の委員の協力を得て、介護相談事業や体験学習、ボランティアの受け入れ、地域との防災協力体制等、事業所の力を活かした地域貢献に積極的に取り組み、開かれたホームを目指していく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議を活かした取り組み	新型コロナウイルス感染症対策の為、書面での開催が続いている。コロナ収束後の対面での開催再開に向けて、委員との関係の継続に努めていく。また、ホームの運営だけでなく、地域の課題と一緒に取り組んでいけるような会議運営への準備を進めていく。	知見者や薬剤師、他グループホーム管理者等、委員の増員を図り、テーマを決めてミニ勉強会を行う等して内容の充実を図り、多様な意見や提案が集まる活発な会議運営に取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。